

## 会 議 録

1 会議名

令和3年度 第2回和田区地域協議会

2 報告（公開・非公開の別）

（1）令和3年度地域活動支援事業について（公開）

3 議題（公開・非公開の別）

（1）自主的審議事項に関する協議について（公開）

4 開催日時

令和3年6月24日（木） 午後6時30分から午後7時30分まで

5 開催場所

ラーバンセンター 第4研修室

6 傍聴人の数

2人

7 非公開の理由

—

8 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：有坂正一（会長）、植木厚祐、片田和夫、金子良一、草間雄一、佐藤勝雄、篠原精子、高橋武弘、平原留美、宮崎雅彦（副会長）山岸優子、横田英昭（欠席2人）

・事務局：南部まちづくりセンター 堀川センター長、小池係長、五十嵐主任

9 発言の内容

**【小池係長】**

・現在、佐藤力委員、清水委員を除く12人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

・同条例第8条第1項の規定により、議長は会長が務めることを報告。

**【有坂会長】**

・会議の開会を宣言

- ・ 会議録の確認：山岸委員に依頼

次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

**【堀川センター長】**

- ・ 配布資料の確認
- ・ 次第に基づき、議題の確認

**【有坂会長】**

- ・ 「議題等の確認」について質疑等を求めるがなし。

— 次第3報告（1）令和3年度地域活動支援事業について —

**【有坂会長】**

次第3報告（1）令和3年度地域活動支援事業について、事務局に説明を求める。

**【堀川センター長】**

- ・ 資料No.1により説明

**【有坂会長】**

事務局の説明について、質問のある委員の発言を求めるがなし。

以上で次第3報告（1）令和3年度地域活動支援事業についてを終了する。

— 次第4議題（1）自主的審議事項に関する協議について —

**【有坂会長】**

次に、次第4議題（1）自主的審議事項に関する協議についてに入る。

今年3月の会議で自主的に審議するテーマを決めた。この自主的審議事項のタイトルと概要について、正副会長で資料No.2にまとめたので説明する。

資料No.2により説明

自主的審議事項のタイトル、概要について、意見のある委員の発言を求めるがなし。

資料No.2のとおりとすることでよいかを委員に諮り了承を得る。

次に、資料No.3に入る。

事前に資料No.3により、各委員の意見をまとめておくよう依頼していた。まず、各委員が思い描く上越妙高駅周辺の活性化とはどういう状態なのか。どういう状態を活性化していると言えるのか。また、それを踏まえて現状把握した方がよいと思うことについて、各委員の考えを聞いた上で、今後の自主的審議事項の協議を進めていきたい。

普段とは逆の順番で宮崎副会長から順に発言願う。

#### 【宮崎副会長】

西口の釜蓋遺跡の芝生のところを植栽というか、例えばコスモスとか、駅を降りた人が「ここは花が綺麗だ」とかインパクトがあるよう、芝生ではなく別なものを植えたらどうかと思う。そのことを以前、埋蔵文化財センターに尋ねたところ、「それは文化財だから動かしてはいけない」と言われた。では、なぜ舗装道路があるのかと思ったりしているが、そこは何か区域があるのか、制約があるかわからない。

もう一つ、北の方もまだ空いている土地があると思う。市の方は駄目と言うかもしれないが、できれば市の建物などをつくって地域や市全体が活性化するようにできないかと思っている。まずは、例えば教育委員会とか都市計画の担当課から来てもらい、現状把握するのが一番だと考えている。

#### 【横田委員】

駅を人流の拠点とし、上越妙高駅に行けばどこへでも行ける、そういう状態が活性化ではないかと感じている。例えば、高速バスのターミナルがこの駅と繋がって、上越妙高駅から東京へ夜行バスで行くのもよいと思う。また、長岡市のアオーレみたいに駅から5分くらいのところに市の施設ができるとよいと思う。なんでも郊外へ出て行ってしまって、それでいて、公共交通機関を使ってくださいみたいな話があるが、やはり駅の近くでこういった施設があるとよいと思う。

#### 【山岸委員】

活性化とは何かということで、皆が健康に働くことができ、仕事、会社、畑や

田など自分なりの仕事でちょっと輝ける場所、居心地のよい場所であること。少しでも何か楽しみがある場所を作ることだと考えた。コロナがまだ終息に向かっていないが、地域の方々や市外県外からの方々が楽しく集えるような場所がこの近辺にあるとよいと思う。コロナ禍で駅も閑散としており、大勢を集めることはなかなかできないが、駅周辺の美化活動、朝市みたいなもの、パン祭りとか山菜祭りみたいな、そういうものがやれたら少しでも人を呼ぶことができるのではないかと考えた。

#### 【平原委員】

私が思い描く活性化は、交流や情報交換がされている状態、また、楽しみや出会いが生まれている状態である。駅周辺で整備が進んでいるところがある一方、整備が進んでいないところについては、どんな制約や条件があるのか、なぜ進んでいないのか、誰がどんなことをしているのかなど、現状把握ができると活性化に向けてどんなことができるのか考えていけると思う。

#### 【高橋委員】

駅周辺に通年を通しての目ぼしい観光資源がない。交通ハブというか、駅からのいろいろな交通経路がほしい。また、活気をもたらすためにはショッピングモールやスーパーがあるとよい。土地の開発の問題もあると思うが、土地が細分化されているように感じる。そういうのをまとめるにはどうしたらよいか。地域協議会でそこまで踏み込んでいいのか、その辺も協議できればと思う。

#### 【篠原委員】

私もショッピングモールがあるとよいと思う。また、横田委員が言われたように市の施設というか、オフィス街みたいなものがあれば、働き場もあり活性化に繋がると思う。そして、近くに上越地域医療センター病院があるが、この病院が整備拡充されて県内一日本一のリハビリセンターができるとよいと思う。

#### 【佐藤勝雄委員】

この題目については数回討議されたが、金子委員が言われたように地域協議会委員の総意が他組織に反映されないのは非常に残念だと思う。討議することはこの会としてはよいことだが、何とかいろいろな組織に反映できるように考えてい

ただければよいと思う。駅西口はフルサットが第一歩を踏み出され、今も開発されている。また、飛田テックは東京のデベロッパーに依頼し、市とも打合せをされ、西口は進んでいると思う。東口は建設中の飲食店や5階建ての計画がある。JA えちご上越農協和田支店の跡地は東口のメインであり、できれば専門学校を誘致して建設されるとよいと思う。JA えちご上越は単独で事業を行わず、売却の方向でいくと聞いている。宮崎副会長が言われた北側の土地は飛田テックでいろいろ計画をもっていて、これから進んでいくようだ。商業施設、学校関係も多少あるのか、あと、分譲住宅なども計画されているようだ。コロナ禍だが、賑わいのある駅になればよいと思う。

#### 【草間委員】

市の都市計画は大体終わっていると思う。駅の南の方は農地で、ほ場整備の話が進んでいる。ほ場整備が終わると数十年は農地のままになると思う。そういった中で私達地元としては、農地を活用した観光を今後考えられないかと思っている。これからできると思われる生産組合等と何かできないか考えていければと思っている。

#### 【金子委員】

私の思い描く上越妙高駅周辺の活性化は、上越市の玄関口としてではなく、上越市と妙高市の中心となり、地域の核となることだと思う。人が多く集まると活性化する。駅周辺にたくさんの飲食店、商店、デパート、スーパー、企業に進出していただき、会社が建ち並ぶようになるとよい。要するに、普通の他の駅周辺並みになれば良いと思う。この駅周辺は市が土地区画整理事業に取り組んできて、今も取り組んでいると思うが、今のままでは何のビジョンも考えもないように思う。25年ぐらい前ののびやかJプランのように、しっかりとしたビジョンを持ち、駅前開発、上越市の発展に取り組んでもらいたいと思う。駅周辺が活性化すれば、上越市、妙高市もよくなり、地域全体がよくなると思う。そしてひいてはかがやきが停まるようになると思う。

#### 【片田委員】

駅周辺が発展するには、まず道路の整備だと思う。今年の冬は大雪で大変だっ

た。例えば山麓線から青木を通ってくると道路は困難な状況だった。やはり家並みがあると除雪は困難になる。道路の活用を考えると、新井信用金庫からガード下をくぐっていくと、あの道が途中で切れている。あれを山麓線まで通す。そうすると観光でも大型バスがずっと入ってこれる。大和5、6丁目の団地の方も途中までになっている。これを学校の方から通す。道路が整備されれば自然にいろいろなものが集まってくる気がする。そしてスーパーの誘致。企業とすれば事業として成り立てば、誘致をしなくても自然に出てくる。開業して6年経つ。はじめの頃は「駅を降りても田んぼばかりだ」という人の声をニュース等で聞いた。今6年経ち、素晴らしく発展している。この地域は上越妙高駅があり、近くに高速道路、バイパスがあり、立地条件は素晴らしい。まずは道路を通す。そうすると自然に人が、企業が寄ってくる。また公共の建物も誘致できればと思う。県立武道館や体操場ジムリーナのように公共の建物があれば、全国大会を誘致して企業などが自然に集まってくると思う。

#### 【植木委員】

活性化ということになると、賑わいの創出などがイメージとしてある。人が集まれば当然、人も物も動き活性化すると思う。どういう状態になることを望むのかというのは、正直、まだ何も見えていない。これから勉強させていただく。この後の現状把握が一番のポイントだと思う。現状をしっかりと把握しないことには、何をしたらいいとか、こうした方がいいとか話をしても無駄だと思う。まずはしっかりと現状把握をしたいと思う。

#### 【有坂会長】

皆さんの意見を聞いて、それを参考にしながら、今後討議をしてどういったものが活性化になっていくのか考えていきたい。まずは、いろいろなところから話を聞くということが第1と考えている。各委員の発言について、質問等ある委員の発言を求める。

#### 【宮崎副会長】

私の場合は釜蓋遺跡の関係もあるので教育委員会の担当部署とか、ここの開発で都市計画の担当課とか、まずはそういったところから説明してもらおうことが考

えられるが、委員の皆さんからどんなことを聞きたいかなど意見を出してもらって決めていけばよいと思う。植木委員の言うように、まずは現状把握だと思う。

**【有坂会長】**

今、宮崎副会長から話があったように、委員それぞれ活性化についていろんな思いがあるが、まず各委員の活性化に対する思いに関連して、市のこういったところから話を聞きたいという希望があれば聞きたい。宮崎副会長はまず教育委員会などから聞きたいということか。

**【宮崎副会長】**

まずは、一番大元の都市計画の担当課とか、そういったところから聞いた方がよいと思う。

**【有坂会長】**

先程、誘致や道路の話もあったので、そういったところをお願いするか。

**【草間委員】**

道路は4年ごとに新規の事業が採択されると思う。去年、新規のものができたので、今年は確か2年目だと思う。あと2年経った時に新規の事業が挙がってくると思うので、要望するのであれば、そういったものに合わせる必要があると思う。山麓線から青木を通る県道は今年調査費がついたような情報もあるので、道路拡幅の調査に入るのではないかと思う。

**【有坂会長】**

4年ごとということ、今どこが候補に挙がっているのかを聞いて委員で情報を共有することが大事だと思う。市のどこの部署からこういった情報を提供してもらうかを定める必要があると思う。

**【金子委員】**

市のどこの部署に聞いた方がよいのか分からないので、それは市に問い合わせることでよいと思う。

**【佐藤勝雄委員】**

今年、市へ和田地区の要望事項をお願いに行った時、上越妙高駅周辺の開発について私が質問したら「進出企業支援制度のご案内」というパンフレットをもら

った。問い合わせ先は交通政策課交通企画係、産業立地課産業立地推進係とあるので、ここにお願ひすればよいと思う。ただ、諮問されてない事項でお願ひできるのかは分からない。先程アオーレ長岡の話があった。お金がかかり難しいとは思ひが、人を呼ぶためにあのような立派な施設が必要というのもよい意見だと思ひう。

**【宮崎副会長】**

どこの課から来てもらうかは、正副会長と事務局に一任いただければと思ひう。まず全体像をみて、個別の案件はそれからやればよいと思ひう。

**【平原委員】**

今、宮崎副会長が言われたのはざっくりしてよく分かるが、具体的に今日挙がったバスターミナル、ショッピングモール、オフィスビル、病院、コンベンションホール、道路など、駅開業後6年の間になぜできないのか、これからできる可能性があるのか、そういった話が聞けるとよいと思ひう。誰がつくればできるのか、どの位の金額がかかってそのお金はどこから来るのかなど、ちょっと具体的すぎるかもしれないが、そういう話が聞けると情報を共有するにあたり、よいと思ひう。

**【有坂会長】**

今の平原委員の意見は地域協議会でやることなのかちょっと疑問に感じるが、希望であれば事務局とも相談したい。

**【平原委員】**

そうすると、賑わいについて何を検討していくのか。

**【有坂会長】**

それは私も分からない。そういった建物を建てれば賑わいができるのか、ちょっと疑問もあるが、委員の皆さんがそう進みたいとなれば、皆さんの意見に合わせて進んでいきたいと思ひう。今日皆さんから出た意見はとりまとめて次回以降に案内したい。

**【宮崎副会長】**

先ほど平原委員から私の意見がざっくりしているということで、私もそう思ひう。平原委員の意見はわかりやすいし、どこに問題があるかということは大事だと思ひ



うが、まずは皆で意識を共有するには、勉強する意味でも市はどう考えているのか等を聞いた方がよいと思う。平原委員の言ったことも今後必要だと思うので、時間をかけながらやっていければと思う。

**【有坂会長】**

1回ですぐまとまるわけではなく、これから1年、2年かかるかもしれないが、そういう長いスパンで考えていく必要があると思う。よって第一歩として、開発に携わってる課にまず話を聞くということから始めて、それから枝葉を広げる方がよいのではないかな。

**【平原委員】**

ショッピングモールがあつたらよいとか、思い描いていることはある。私が望んでいる賑わいみたいなものは、先に申し上げたとおりである。委員の皆さんが知りたいことが知れる状態が良いと思う。先ほど佐藤勝雄委員がお持ちになっていたパンフレットの内容を産業立地課に説明してもらっても、ちょっと意味がわからないというか、難しい。どんなことを質問するのか、説明してもらおうかというのは、決まっていた方がよいと思う。

**【有坂会長】**

まずは第一歩として、都市計画関係の課から話を聞く方がよいか、それとも他の一番端的に担当している課があるのかわからないが、そういったところからまず話を聞くということでどうか。

**【植木委員】**

上越妙高駅がある地区の地域協議会ということでこのテーマを選んでいる部分もあると思う。私も全然わからないので、一から勉強したいという気持ちで、市からいろいろな話を聞きたいと思っている。まず、この上越妙高駅をなぜこの地に誘致したのか、どういうビジョンをもってこの駅を作ったのか等、初歩の初歩を市から聞く。そして、なるほど、その中で地域の活性化はどうやったら生まれるのか、この地域資源を活用してどう賑わいを創出していくのかなど、そういった議論があつて、その後、地域住民が一体となってこの地域の賑わいを創出しよう、活性化しようとなった上で建物等に繋がっていくような気がしている。

**【佐藤勝雄委員】**

西口の方はかなり企業が進出して賑やかになってきているが、東口はまだ空地があり、市としてどういう優遇面、誘致条件を提示しているのかと質問したところ、後日、先ほどのパンフレットが送られてきた。優遇税制、奨励金と書いてある。勉強のためにも、これについて説明を受けるのも一つの手だとは思う。

**【金子委員】**

平原委員の意見について、やはりそれも大事だと思う。開業して6年以上経ってこの状態の中、なぜいろいろできないのか、開発しないのかを聞くことは、地域協議会がやることではないという意見があった。私は6年以上何もしないということは、市で考えがあるのではないかと考えている。以前も言ったように「発展させないようにしているビジョン」があるのではないか。だとすれば、私らが幾ら話しても前に進まないと思う。今度、市の担当の人から来てもらい考えを聞いて、私らがこういうふうにしてほしいと言っても、それが通るか通らないかわからない。市の考えがしっかりしたもので、曲げられないとなれば私らが何を言ってもだめだと思うが、そういうところはどうか。それでも一応、地域協議会としてこういう意見であると市に提示するのか。それで市は方針を変えてくれるのか。それが私は不安だが、以前私が伝えたかったことはそういうことである。そういった力がなければ、話をしても意味がないと私は言った。市の方針について、この6年間何もほとんど動いてないと私はとらえている。西口でいろいろ開発されているが、あれは市の動きではなく飛田開発の個別的な動きである。

**【有坂会長】**

それは市に聞いてみるしかないと思う。事務局、市に提言はできるのか。

**【堀川センター長】**

内容による。

**【有坂会長】**

どういった内容までが提言できるかというのは、今ここでは分からないかもしれないが、一応提言はできるということである。

**【佐藤勝雄委員】**

提言するにあたっては和田地区には振興協議会、商工会、町内会長会、農家組合会長会など5つくらいの組織があって、市へ提言している。早く提言するには、これらの組織を大いに利用する。

**【平原委員】**

ちょっと混乱してしまったかもしれないが、時間があって市からいろいろな説明を聞いて、勉強していくということであれば、それでいいと思う。そうではなく、ピンポイントで知りたいことがあれば、それを先に聞いてしまうのも一つの方法ではないかとも思う。そのどちらかだと思う。

**【有坂会長】**

平原委員はどちらにしたいのか。

**【平原委員】**

私はもやもやを抱えて説明を受けているよりは、先に聞いてしまった方がいいと思う。

**【有坂会長】**

なかなかまとまりがつかないようで、私自身もかなり混乱している。いずれにせよ事務局と話をし、まずはどこかの課に来てもらい、そこで皆さんの思いをぶちまけるといったことをやった方がよいのではないか。それから方向性が見えるかもしれない。まず1回やってみないと前に進まないような気がする。

どこの課にするかについて、正副会長と事務局に一任いただくことについて諮り、委員の了承を得る。

では今日皆さんから出た意見を取りまとめて、まず最初に最適と思われる課に来てもらう場を持ちたい。以上をもって、次第4議題（1）自主的審議事項に関する協議についてを終了する。

— 次第5 事務連絡 —

**【有坂会長】**

次に次第5「事務連絡」について、事務局に説明を求める。

**【堀川センター長】**

- ・次回の協議会：7月28日（水）午後6時30分から ラーバンセンター 第4研修室

- ・当日配布資料

令和3年度和田区地域活動支援事業 催し等予定表（6～8月分）

和田区地域協議会だより第46号

上越市「主要事業・プロジェクトの概要」（追加分を含む）

上越市男女共同参画推進センターからのお知らせ（2種類）

**【有坂会長】**

事務局の説明に質疑を求めるがなし。

- ・会議の閉会を宣言

10 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831（直通）

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

11 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。